

十二 盆

発行日 令和 4 年 1 2 月 1 5 日 (第 9 7 号)
発行 土沢地域づくり会議 代表 新田繁夫
〒028-0115
花巻市東和町安俵 6 区 53 番地
TEL 0198-42-3255 FAX 0198-42-4234

好プレー珍プレーに歓声 クッブ交流大会

土沢地域づくり会議が普及につとめているスウェーデン生まれのニュースポーツ「クッブ」。

初めての交流(大)会(体育協会土沢支部主催)が11月6日(日)和田公園で開かれ、5行政区から24人が参加した。

6月から月2回の練習を重ね腕を磨いて来た面々…よりも、初めて参加した方が好プレーを連発?、「やってみるとカンタン、意外と面白かった」…と好評でした。

さわやかな歓声が秋空に吸い込まれていった。



おしゃべりしながら楽しくプレイできる
エコロジカルなニュースポーツです。



真剣・真剣・真剣…

バリアフリーで快適ですよ 4年生コミセンを見学

11月17日(木)・18日(金)

東和小学校4年の児童53人が総

合学習で土沢振興センター(コミセン)を見学を訪れた。

施設管理者である土沢地域づくり会議新田代表から、「施設内はバリアフリーで、フロアは段差がなく車椅子も楽々に移動できます。トイレはドアが広く、オストメイトが完備、授乳室やキッズコーナーもあって、お母さんも安心でき、みんなが快適に利用出来るように配慮された、とってもやさしい施設(町)ですよ…」との説明に、子供達はメモを取りながら、熱心に学習し帰られました。

東和コミュニティセンター 年末年始の休館日

令和4年12月29日(木)～令和5年1月3日(火)

「ほっと」の営業 年内は12月28日(水)まで。年明けは1月4日(水)から営業します。



土沢地区の人口と世帯数

令和4年10月末日現在

行政区	日本人住民						外国人住民			
	世帯数	男	女	計	出生	死亡	世帯数	男	女	計
土沢第1(新地・百ノ沢)	129	176	183	359	0	1	0	0	1	1
土沢第2(鎗町)	143	143	178	321	1	0	0	0	3	3
土沢第3(中町・下町)	154	177	189	366	0	0	8	2	7	9
土沢第4(駅前・上町)	173	178	208	386	0	2	8	6	3	9
土沢第5(前郷・八日市場)	138	178	192	370	0	1	0	1	0	1
土沢第9(六本木)	248	292	335	627	0	3	7	7	0	7
合計	985	1,144	1,285	2,429	1	7	23	16	14	30

※この表は花巻市住民登録人口集計表を参考に作成しています。

着衣着火にご用心

「着衣着火」…聞いたことありますか？。その名のとおり衣服に火種が燃え移ることをいいます。重いヤケドを負ったり、死亡した例もあって、毎年100人の方が亡くなっているとか…。つい最近、市内でも痛ましい事故がありました。

注意ポイントは…

未然に防ぐには、なんと言っても服装に注意することです。袖口や裾が広がっている衣服、ストールなど垂れ下がるものは家事に向きませんね。

更に、生地が表面が起毛している衣類はいとも簡単に着火し、火が走るように一気に燃えあがります。これは「表面フラッシュ現象」と呼ばれ、着衣着火の中では大変危険な現象です。

くれぐれもご油断なく…。



花巻市消防本部予防課

手前ミソは うまさ格別

いかが？

日本独自の大豆発酵食品「味噌」。自分で仕込んだミソはうまさも格別、手作り味噌教室へのお誘いです。

日時：令和5年1月24日（火）
9：30～11：30

場所：東和コミュニティセンター

講師：東和町グリーンツーリズム運営協議会

内容：味噌の仕込み 出来上がり 4 kg

参加費：2,000円

定員：16名（先着順）

その他：詳しくは、12月15日配布のチラシをご覧ください。

申し込み・お問い合わせは、土沢地域づくり会議 42-3255 まで。

「急」なことは厳禁

雪道や凍結路では、乾燥路に比べ何倍も滑りやすく、急発進・急ハンドル・急ブレーキといった「急」のつく運転はスリップの原因になり極めて危険で冬道では厳禁です。気を付けて！

今年土沢地区は交通安全推進モデル地区

ふる歴コーナー

コミセン内に併設されている「ふるさと歴史展示室」から東和の歴史を紹介します。
《展示パネル引用》

東和の民俗芸能

県指定無形民俗文化財

はやちねたけりゅう うきたかぐら
早池峰岳流 浮田神楽

平成30年（2018）4月13日指定

浮田に伝承される神楽で、早池峰岳神楽直系の最後の弟子神楽です。大正初年ころ、浮田の佐々木忠孝と阿部藤蔵が中心となり、浮田幸神社の奉納神楽とするため、仲間を集めて立ち上げました。伊藤巳太郎を師匠として5年にわたり神楽を習い、弟子神楽として正式に認められたことを証明する大正5年（1916）2月銘の「奥付書」が保存されています。

昭和59年（1984）には、南部家から家紋（向鶴紋）の使用を許す「いんきょじょう允許状」を受け、記念の公演も行われました。

浮田幸神社の例大祭をはじめ、市内各地の例大祭などで、年間30公演以上の神楽の上演が行われています。

浮田神楽は現在も岳神楽から舞の指導を受けており、勇壮で激しい舞の系譜を受け継いでいます。

